

暹羅国より琉球国中山王あて、返礼の咨

(一四三〇、三、二二)

琉球国中山王、宣德五年(一四三〇)六月内、暹羅国の咨を准く。

(一) 見大明朝貢等の事の為にす。中つるに堪うる貨物を欠少し、深く未便と為す。特に使臣南者結制等を遣わし、海船一隻に坐駕し、磁器の方物を装載し、本国に前到着して胡椒・蘇木等の貨を収買し、回国して応用せしむ。仍お礼物を備えて奉獻す、とあり。

此れを准け、来便に聽従して貨物を収買し具備せしむる外、今、風信の時月に照らし、順便に打発して起程せしむるに、就ち回奉の礼物を將て開坐し移咨す。知会せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今、礼物を將て開坐す

蘇木三千斤 祐紅布二十四

剪絨花氈二領 西洋糸牙耳布一条

右、琉球国中山王に咨す

宣德五年(一四三〇)三月二十一日

注*本文書は、琉球の宣德四年の暹羅派船(四〇一〇八)に対する暹羅

国側の回答であり、最初の一行は後に琉球側が冒頭に付したものの。

使者の南者結制等は宣德四年十月十日の咨をもって琉球を出発

し、宣德五年三月二十一日の暹羅国の回答をもって帰途につき、同年六月内に琉球へ帰国したわけであるが、これは暹羅への渡航の標準的な日程である。なお南者結制等は宣德五年十月十八日の爪哇国あての咨(四〇一〇九)をもって、その年のうちにまた渡航している。

(1) 見大明朝貢等の事の為にす。ここから「：仍お礼物を備えて奉獻す、とあり」までは琉球国王の咨の引用である。(四〇一〇八)と冒頭の部分が異なる。

(2) 聽従。まかす、したがう。

(3) 祐紅布。未詳。『万曆会典』卷一〇五には暹羅国および爪哇国からの貢物として「油紅布」、占城からの貢物に「油紅綿布」があり、あるいは同じものか。

(4) 剪絨花氈。『瀛涯勝覽』忽魯謨斯(ホルムズ)の条に、その地の産物として「十様錦剪絨花単」があり「其絨起一、二分。長二丈。闊一丈。」と記され、いろいろが美しい毛足の長い織物のようなのであるが、あるいはこれに類する毛織物の一種か。

(5) 西洋糸牙耳布。西洋布の一種か。『瀛涯勝覽』古里国(カリカット)の条に「西洋布。本国名摺黎布。出於鄰国坎巴夷等处。每疋闊四尺五寸、長二丈五尺：」とある(坎巴夷はカリカット背後にあるコインバートルを指すか。カンバヤとする説もある)。

『大明一統志』も「西洋古里国」および「忽魯謨斯国」(ホルムズ)の産物として、西洋布をあげる。カリカットはインドのマラバル海岸に位置し、インドにおける東西貿易の中心地であり、グジャラートを含む他地方の品々をも集荷して輸出したため「西洋布」は広義にインド方面産の織物と考

えてよいかと思われる。『万曆会典』は暹羅国、滿刺加国の貢物として西洋布を記す。西洋布の材質に関しては諸説あつて特定しにくい。

1-39-02

朝鮮国王李禔より琉球国王あて、返礼の書簡と別幅

(一四三二、一二、□)

朝鮮国王李禔⁽¹⁾、琉球国王殿下に奉復す。

我国と貴邦と、世々信睦を敦くするも、海道遼遠なるに縁り、以て多年の疎曠を致す。今、王、先君の好を維がんことを思い、専使もて来聘し、仍お礼賂を恵み、更に示すに交通往來の義を以てす。寡人深く用て喜謝す。庶わくは此の心を堅くして以て終誉を永くせんことを。豈に美ならざらんや。不腆の土宜もて聊か微誠を表す。切に希わくは領納せんことを。冬寒ければ冀わくは時に順い保重せんことを。不宣。

宣徳六年(一四三二)十二月 日

朝鮮国王李禔

別幅

黒細麻布一十五匹

白細苧布一十五匹

満花席一十五張

虎皮五領
人參一百斤
松子二百斤

注*本文書は〔四〇一〇〕に対する返書で、咨文でなく書簡の体裁をとっている。また『李朝実録』世宗十三年(宣徳六)十二月丁酉

(六日)の条に記載されている。

(1) 朝鮮国 李氏朝鮮(三九二—一九一〇年)。高麗朝の武將李成桂がクーデターで建国。都を漢城(ソウル)に置き、儒教を国教として官僚国家体制を整備し、明を宗主国とし、日本・琉球などと友好関係を維持した。その後、党争により国政が乱れる中、十六世紀末に豊臣秀吉の侵略を受けて国土が荒廃し、十七世紀には後金(清)の攻撃を受け、これに従属した。十九世紀には欧米列強や日本が進出し、のちには遂に日本が併合した。

『歴代宝案』中の朝鮮に関わる文書は十九通で、年代上二つに大別できる。一つは十五世紀の六通、一つは明末期の十三通である。明末期のものは両国の朝貢使節を介して北京で受け渡しされたが、届かなかつたと思われる文書も多い。なお、『歴代宝案』には収録されていない弘治十三年(一五〇〇)の、朝鮮国王李愷から琉球国王あて書簡(都城島津家所蔵)一通が現存する。糸数兼治「朝鮮国王李書翰について」(沖繩県教育委員会文化課紀要、六号、一九九〇年)にその写真と解説がある。

李朝は、中国の実録の制を採り入れ、太祖実録以下各王に